

広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

1 五類定点疾患週報情報

令和6年第12週(令和6年3月18日～3月24日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	1,439	12.73	2.81	↘	11	ヘルパンギーナ	1	0.01	0.03	
2	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)※3	410	3.63		↘	12	流行性耳下腺炎	0	0.00	0.07	
3	RSウイルス感染症	28	0.40	0.32	→	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
4	咽頭結膜熱	37	0.53	0.27	↓	14	流行性角結膜炎	13	0.68	0.32	
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	187	2.67	0.88	↘	15	細菌性髄膜炎	1	0.05	0.00	
6	感染性胃腸炎	389	5.56	4.33	↘	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	水痘	6	0.09	0.12		17	マイコプラズマ肺炎	2	0.10	0.08	
8	手足口病	14	0.20	0.04	↘	18	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	0	0.00	0.09		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.05	
10	突発性発しん	14	0.20	0.32	→	※1・過去5年間の同時期平均(定点当たり)、※2・鳥インフルエンザを除く、※3・2023/5/8～5類になりました、※4・オウム病を除く					

発生記号(前週と比較)

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1、2	1～12	13,14	15～19
定点数	43	70	19	21

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↖	↙	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 の定点当たり報告患者数が県内すべての保健所管内で警報継続基準値(定点当たり4)を下回りました。流行は終息に向かっていると考えられるため、令和5年11月30日に発令した「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報」を令和6年3月28日に解除しました。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
インフルエンザ	30	10	10	警報発令 (R5.11.24発令)	7.81	18.90	19.00	20.00	11.67	2.08	15.28
咽頭結膜熱	3	1	—	警報発令 (R5.11.16発令)	0.10	1.33	0.56	0.75	0.39	0.29	0.82
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	警報解除 (R5.11.30発令分)	0.80	3.67	3.11	3.00	3.22	2.71	2.18

注) 原則として、警報・注意報は県内いずれかの保健所管内で開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で継続基準未満となった場合に解除します。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

● 急増疾患 なし
● 急減疾患 咽頭結膜熱 (1.20 → 0.53)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1		1	1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	12	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1			1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3					2		1
		ジアルジア症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	5			1		4		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>